

農業農村整備事業（公共）

【164,000百万円】

対策のポイント

老朽化した農業水利施設の長寿命化・耐震化対策や担い手の農地集積の加速化、農業の高付加価値化等のための水田の大区画化・汎用化や畠地かんがい等の整備を推進します。

＜背景／課題＞

- ・基幹的な農業水利施設の老朽化の進行や、集中豪雨や地震等の自然災害の激甚化に対応した防災・減災対策を強化して推進することが必要です。
- ・農業の生産性向上、担い手への農地集積の加速化のためには、狭小・不整形の農地の大区画化や汎用化、畠地かんがい等を推進する必要があります。

政策目標

- 基幹水利施設の機能診断済みの割合
(約4割(22年度)→約7割(28年度))
- 国営造成施設における重要構造物の耐震設計・照査の実施率
(約2割(23年度)→約6割(28年度))
- 基盤整備実施地区における担い手への農地集積率 約8割以上(28年度)

＜主な内容＞

1. 農業水利施設の長寿命化対策等

老朽化した農業水利施設の機能診断や補修・更新、集中豪雨による農村地域の湛水防止対策等を実施します。

国営かんがい排水事業	33,289百万円の内数
国営総合農地防災事業	9,732百万円の内数
農村地域防災減災事業	20,473百万円
地すべり対策事業	1,854百万円
水資源機構かんがい排水事業	1,850百万円
国庫負担率・補助率：2/3、1/2等	
事業実施主体：国、都道府県等	

2. 農業水利施設等の耐震対策

基幹的な農業水利施設やため池等についての耐震診断やハザードマップの作成、耐震化工事等を実施します。

国営かんがい排水事業	33,289百万円の内数
国営総合農地防災事業	9,732百万円の内数
震災対策農業水利施設整備事業	28,400百万円
国庫負担率・補助率：2/3、1/2等	
事業実施主体：国、都道府県等	

3. 農業の基盤強化対策

担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化等を図る水田の大区画化・汎用化や畠地かんがい、用水路のパイプライン化等を実施します。

国営かんがい排水事業	33,289百万円の内数
国営農地再編整備事業	3,930百万円
農業競争力強化基盤整備事業	19,789百万円
農業基盤整備促進事業	29,587百万円
農業水利施設保全合理化事業	14,000百万円
国庫負担率・補助率：2/3、1/2等	
事業実施主体：国、都道府県等	

[お問い合わせ先：農村振興局設計課 (03-3502-8695(直))]